Kakeaiの「日常的な1on1機能」

負担のない事前準備

部下やメンティー

- **話したいトピックを選ぶ**

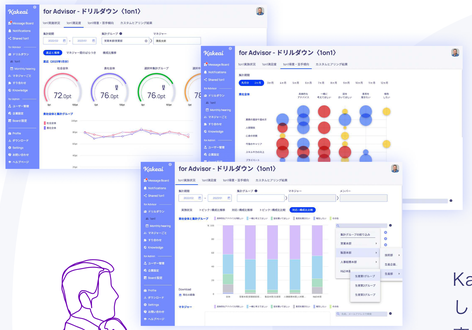
  業務の進捗や進め方、人間関係、心身の状態、今後のキャリア、スキルや力の向上、プライベート、会社や部署の方針...（カスタマイズも可能、上司から選択することも可能）

- **上司に期待する対応を選ぶ**

  具体的なアドバイスがほしい、一緒に考えてほしい、話をきいてほしい、意見を聞きたい、報告したい

- **Outlook、Googleカレンダー等との同期、会議室予約、1on1希望時間表示**...etc.

実態を掴み、シャープに現場を支援



時代に即した マネジメントへの進化

Kakeaiは、日常的な1on1を中心とした、現場のコミュニケーションを変えるさまざまな機能により、従業員の「一律・管理」ではく「個別・支援」型のマネジメントへの進化を実現します。

経営、エグゼクティブ、人事、企画・推進系部門

- 1on1の状況や、各組織の1on1の特徴、1on1実施回数等を可視化
- 外部システム連携によるユーザー管理 ...etc.

スムーズで手応えのある1on1実施

- 上司への「対応のヒント」提供
- ビデオ通話内蔵でリモート・対面に対応
- 生成AIによる要約や自動文字起こし
- リアルタイムに同期されるメモ
- テーマを自動提供するアイスブレイク
- 第三者へのメモの共有や引き継ぎ
- クリティカルな情報をタイムリーに報告

...etc.

Kakeaiにたまる フィードバック

データやAIから改善方法を掴む

- 1on1ビックデータから、上司自身の得意・苦手をリアルタイムに可視化
- 数十万のKakeaiユーザーから共有される、具体的な改善策
- 社会全体や、過去の自分との比較
- 月1度のサーベイも可能、部下の成長の実感やコンディション把握 ...etc.

上司やメンター

企業が1on1に取り組む背景、課題

1on1ミーティングとは、業務の指示や判断を目的としたミーティングではなく、部下を主役とした、成長や日常的な困りごとの支援を目的としたミーティングです。多くの場合、例えば「2週間に1度30分」「1ヶ月に1度60分」というように、定期的に実施されます。

さまざまな背景から取り組みが進む1on1ミーティング

エンゲージメント向上　人的資本経営のための打ち手　従業員の多様化への対応　社員の定着促進　成長支援・育成

ジョブ型への移行にの伴う面談の重要性向上　風土改革　現場のマネジメント力強化　自律的・自立的な現場組織づくり

経営計画や戦略の現場接続　コミュニケーション活性化によるイノベーション創出　パーパスやミッション・ビジョンの浸透

1on1ミーティングに取り組んでみたが...

非常に重要な取り組みである一方、現場の負担も大きい上に、
上司部下の関係性やコミュニケーション力にその質が依存しがちであり、多くの問題が生じます。

- 信頼関係や力量が影響し、本音がきけない／話せない
- 上司が話したいことを話し、部下主体の時間にならない
- その場限りになって、連続性がない
- 心理的にも、物理的にも負担が大きく継続できない
- かけている時間に対して、効果が低い
- 質がばらばらで危険（上司の個人力の差が露呈）
- 上司自身が、どこをどう改善したらよいかわからない
- 定着や推進の負担が高い

全ての1on1を支える、UX・特許・テクノロジー

よりよい1on1を追求し設計されたUX

1on1の負担を取り除く、便利で楽な仕組み

1on1の質を高める、社会のナレッジ展開やAI

1on1専用に発明された複数の特許

日本企業で初めて世界のHRtechサービスTOP30に選出されるなど、国内外からの高い評価

二者間のコミュニケーションにおいて個々人への関わり方を改善するためのコンピュータシステム、方法、およびプログラム 他（特許6534179号、6602996号、6602997号 、 6651175号 、 6813219号 、7057011号、7057029号、7084665号、米国特許第11461724号）

株式会社KAKEAI
東京都港区北青山2-13-5 青山サンクレストビル8F
TEL： 03-6721-1176